

I 日本語・日本事情教育：
2017年静岡大学サマースクール(年次報告(平成28年
度後期・29年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 案野, 香子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024874

また、日本文化論、国際交流実習（「V地域交流」参照）などの出席率も単位認定の基準となる。

7 平成28年度後期の受講生

18名の留学生在が履修し、16名の学生が留学成果発表会を行い、単位が認定された。

2017年静岡大学サマースクール

案野 香子

1 目的

サマースクール学生に対する日本語・日本事情の授業を行うことにより、受講生の日本語運用力を高めるとともに、静岡大学の学生をはじめとする日本人・各国留学生との交流を図り、相互理解を深める。

2 実施期間

2017年6月26日(月)～7月12日(水)

(このうち6月26日(月)から7月12日(水)の修了式までは静岡大学が企画・運営を行い、7月13日(木)以降の自由行動は各協定校の責任で企画・運営を行う。)

3 対象および受け入れ人数

韓国・朝鮮大学校	6名
アメリカ・ネブラスカ大学オマハ校	1名

4 レベル^{1) 2)}

〈初級〉静岡大学作成日本語力判定テスト50点程度（日本語能力試験N3程度相当）

〈中級〉静岡大学作成日本語力判定テスト80点程度（日本語能力試験N2程度相当）

※日本語力判定試験は100点満点

¹⁾ 上記初級レベルに満たない日本語力、および中級レベルをはるかに超える日本語力をもつ学習者は受け入れない。特に後者の学生には、静岡大学への半年～1年の特別聴講生としての留学を勧める。

²⁾ 静岡大学が渡日前日本語能力試験を作成、送付し、各大学において実施する。静岡大学にて採点し、テスト結果および選考結果を対象大学に送付する。

5 費用

2017年度徴収費用	全参加者
授業料	29,600円
宿舎費	22,380円+光熱費
雑費	26,000円
交通費	実費 ⁴⁾
合計	77,980円+交通費および食費

朝鮮大学校は合意書に基づき、授業料免除とする。

雑費はホームステイ謝金3,000円も含まれる。年度により変動する。

交通費（空港から静岡まで、宿舎から大学まで）および食費は実費。

旅行者傷害保険は別途本国で加入する。

6 宿泊先

- ・ 静岡大学国際交流会館（留学生寮 自炊可）
〒422-8021 静岡市駿河区小鹿3丁目4-6
大学までバスで15分（片道190円）、徒歩で25分
- ・ ホームステイ 2泊3日 受入家庭 静岡市近辺の一般日本人家庭

7 日程（予定）

- 6/26（月）：静岡到着、ボランティア学生との対面など
- 6/27（火）：授業開始・開校式・交流会
- 6/28（水）：校外学習①
- 7/1（土）・2（日）：自由行動
- 7/5（水）：校外学習②
- 7/7（金）～9（日）：ホームステイ
- 7/11（火）：筆記試験
- 7/12（水）：口頭発表会・修了式
- 7/13（木）～：静岡出発・自由行動

8 授業科目およびコマ数

- 日本語 18コマ（1コマは90分 計1620分）
- 日本事情 6コマ
- ガイドダンス 3コマ（宿舎・生活/授業/ホームステイ）
- 校外学習①② 2日

9 単位

サマースクール日本語授業に80%以上出席し、筆記試験を受け、口頭発表をした受講者

に対して、授業への参加度および筆記試験とスピーチ発表の成績により、静岡大学国際交流センター〈日本語3〉或いは〈日本語2〉として2単位を認定する。なお、この単位は静岡大学卒業単位に含まれない。

10 成績

成績評価は「秀」(90～100)、「優」(80～89)、「良」(70～79)、「可」(60～69)、「不可」(~59)とし、「秀」、「優」、「良」、「可」を合格、「不可」を不合格とする。

11 クラス

2クラス(来日前、国際交流センターから日本語能力判定試験問題を送付、その得点と来日後の聴解・会話力により2クラスに分ける。)

2017年 時間割

	6/26(月)	6/27(火)	6/28(水)	6/29(木)	6/30(金)	7/1(土)	7/2(日)
1・2	静岡空港 ↓ 静岡到着	ガイダンス	校外学習 ① 富士山 方面	日本語②	日本語④	自由行動	自由行動
3・4		日本語①		日本語③	日本語⑤		
5・6		開校式		日本の遊び	静岡発見		
7・8	ガイダンス 夕食	歓迎会		ホームステイ ガイダンス			

	7/3(月)	7/4(火)	7/5(水)	7/6(木)	7/7(金)	7/8(土)	7/9(日)
1・2	日本語⑥	日本語⑧	校外学習 ② 掛川方面	日本語⑩	日本語⑫	ホームステイ	ホームステイ
3・4	日本語⑦	日本語⑨		日本語⑪	日本語⑬		
5・6				浴衣の 着付け	茶道		
7・8					ホームステイ		

	7/10(月)	7/11(火)	7/12(水)	7/13(木)	7/14(金)	7/15(土)	7/16(日)
1・2	日本語⑭	日本語⑮ 最終試験		静岡出発 見送り			
3・4	日本の食文化 と言葉	日本語⑯	日本語⑰ 口頭発表会				
5・6		日本語⑱	修了式				
7・8			お別れ会				

日本語授業内容

	クラス I	クラス II
①	会話力チェックとクラス分け	
②	ユニット 2 いただきまーす	ユニット 9 何を食べようかな
③	ユニット 3 ちょっと買い物に	ユニット 10 日本の生活 高い?安い?
④	ユニット 4 ジェスチャーで伝えよう	ユニット 11 みんなのスポーツ
⑤	ユニット 5 旅行大好き	ユニット 13 わたしの町は日本一
⑥	ユニット 7 お元気ですか	ユニット 14 ケータイ、持った?
⑦	ユニット 9 何を食べようかな	ユニット 15 結婚いろいろ
⑧	ユニット 10 日本の生活 高い?安い?	ユニット 16 大変だったね
⑨	ユニット 11 みんなのスポーツ	ユニット 18 楽しく 日本語
⑩	ホームステイのために	
⑪	ユニット 12 仕事、がんばります	
⑫	ユニット 13 わたしの町は日本一	ユニット 19 女と男－仕事と役割
⑬	ユニット 14 ケータイ、持った?	ユニット 20 ごみを減らそう
⑭	まとめ 発表準備	まとめ 発表準備
⑮	筆記試験	
⑯	発表準備	発表準備
⑰	発表準備	発表準備
⑱	発表会 (スピーチ)	

クラス I・クラス II 『日本語おしゃべりのたね』 スリーエーネットワーク

日本事情

- 6月29日（木） 日本の遊び
- 6月30日（金） 静岡発見（フィールドワーク）
- 7月6日（月） 浴衣の着付け
- 7月7日（金） 茶道（静岡大学茶道部との学生交流を兼ねて）
- 7月10日（月） 日本の食文化と言葉

校外学習①（6月28日水曜日）～富士山方面～

国際交流会館→富士宮浅間大社→富士宮口新五合目→白糸の滝→高砂酒造→国際交流会館

校外学習②（7月5日水曜日）～掛川方面～

国際交流会館→掛川城→掛川花鳥園・昼食→駿府匠宿（手工芸）→国際交流会館

アンケート集計

日本語のクラス 日本語Ⅰ（初級） 2名 日本語Ⅱ（中級） 5名
 〈授業について〉

Q1 3週間、いろいろな勉強をしました。授業は全体として満足できましたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語Ⅰ	1	1			
日本語Ⅱ	2	3			

Q2 授業（①日本語の授業、②日本事情）について下の数字を使って評価してください。
 またその理由やコメントを書いてください。

5 = 非常によかった 4 = よかった 3 = 普通 2 = あまりよくない 1 = 全くよくない

①日本語の授業

a) テキスト

	5	4	3	2	1
日本語Ⅰ	1	1			
日本語Ⅱ	3	1	1		

b) 先生

	5	4	3	2	1
日本語Ⅰ	2				
日本語Ⅱ	3	1	1		

c) 授業内容

	5	4	3	2	1
日本語Ⅰ	1		1		
日本語Ⅱ	3	1	1		

d) 教室

	5	4	3	2	1
日本語 I	1	1			
日本語 II	4		1		

e) 発表会

	5	4	3	2	1
日本語 I	1		1		
日本語 II	3	1			1

②日本事情

a) 日本の遊び

	5	4	3	2	1
日本語 I	2				
日本語 II	4	1			

b) 静岡発見（フィールドワーク）

	5	4	3	2	1
日本語 I	2				
日本語 II	4		1		

c) 浴衣の着付け

	5	4	3	2	1
日本語 I	1	1			
日本語 II	4	1			

d) 茶道

	5	4	3	2	1
日本語 I	1	1			
日本語 II	4	1			

e) 日本の食文化と言葉

	5	4	3	2	1
日本語 I	1		1		
日本語 II	4	1			

〈宿舎について〉

Q1：今回、国際交流会館に泊まりましたが、どうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	1	1			
日本語 II	4	1			

〈ホームステイについて〉

Q1：2泊3日のホームステイはどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語Ⅰ	1	1			
日本語Ⅱ	4			1	

〈日本での交流について〉

Q1：皆さんが日本で生活しているとき、いろいろな人が関係していました。日本での交流はどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語Ⅰ	1	1			
日本語Ⅱ	4	1			

〈今は〉

Q1：日本人の話していることがわかる。

	よく	だいたい	半分ぐらい	あまり	全然
日本語Ⅰ		1		1	
日本語Ⅱ		4	1		

Q2：話したいことを、日本語で話すことができる

	全部	だいたい	半分ぐらい	あまり	全然
日本語Ⅰ			1	1	
日本語Ⅱ		2	2	1	

〈その他 全体の感想〉

Q1：この3週間の静岡大学サマースクールはどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語Ⅰ	1	1			
日本語Ⅱ	3	2			

〈総 評〉

今年度は、コーディネーター教員と参加者一人ひとりがLINEで結びつき（敢えてグループを作らなかった）、日常の様々な疑問や連絡を密にとることができた。プログラム終了後、日本に正式に留学したいと宣言した参加者もいて、毎年のことながら静岡大学サマースクールの成果が上がっていることを感じた。

今年から、朝鮮大学校側で事前オリエンテーションを行ってもらうことができた。過去の参加者が、事前に静大から送付したガイドブックを参照しながら、サマースクールの様子を報告したという。ただし、そのオリエンテーションではボランティアと遊んだといった「楽しかった思い出」しか述べられておらず、このサマースクールの目玉である「インタビュープロジェクト」については全く触れられなかったそうである。そのことで、朝鮮大

学校から参加した受講者の中にはインタビュープロジェクトに対して過剰な拒否反応を示した者もあり、サマースクール運営でこの点が最も教師一同の悩むところだった。来年以降は、サマースクール募集段階で、プログラムにインタビュープロジェクトがあるということを示し、それに賛同する者に応募してもらうよう促したいと思う。

全学教育科目

原沢伊都夫

平成28年度後期は両キャンパスで1年生向けに日本語Ⅲ・Ⅳ、2年生向けに日本語Ⅵが開講された。25年度より、新しいカリキュラムが始まり、日本事情への日本人学生の履修が可能になった。29年度前期は両キャンパスで1年生向けに日本語Ⅰ・Ⅱ、2年生向けに日本語Ⅴが、浜松キャンパスで1年生向けに日本事情が開講された。日本事情は学際科目に読み替えられるため、2年生の学際科目の枠の中で開講されるが、浜松では1年生のときに日本人と知り合うきっかけにしたいということで、1年次の開講となっている。日本語・日本事情科目はすべて選択科目であるが、日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについては日本語力が基準を超えていると判断された場合以外は原則として受講することとなっている。なお、学生数の後にカッコ書きのある科目はセンター以外の教員が担当している。

28年度後期受講生数

科目名	必修・選択の別	受講対象学年	受講生数 (静岡キャンパス)	受講生数 (浜松キャンパス)
日本語Ⅲ	選択	1年	17 (グロ)	11 (グロ)
日本語Ⅳ	選択	1年	14 (教)	8 (非)
日本語Ⅵ	選択	2年	12	11
日本事情	選択	2年	35	—

29年度前期受講生数

科目名	必修・選択の別	受講対象学年	受講生数 (静岡キャンパス)	受講生数 (浜松キャンパス)
日本語Ⅰ	選択	1年	29	21
日本語Ⅱ	選択	1年	31 (教)	21 (グロ)
日本語Ⅴ	選択	2年	17	6
日本事情	選択	1・2年	—	23

「グロ」はグローバル企画推進室教員が、「教」は教育学部教員が、「非」は非常勤講師が担当